

ウィークリー


テクニカルレポート


岡藤商事株式会社

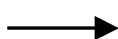
当レポートは情報提供を目的としており、
お取引の判断はご自身で行ってください。


CONTENTS


金 


白金 


ガolin 

灯油 


ゴム 

ドル円 

大豆 

トウモロコシ 

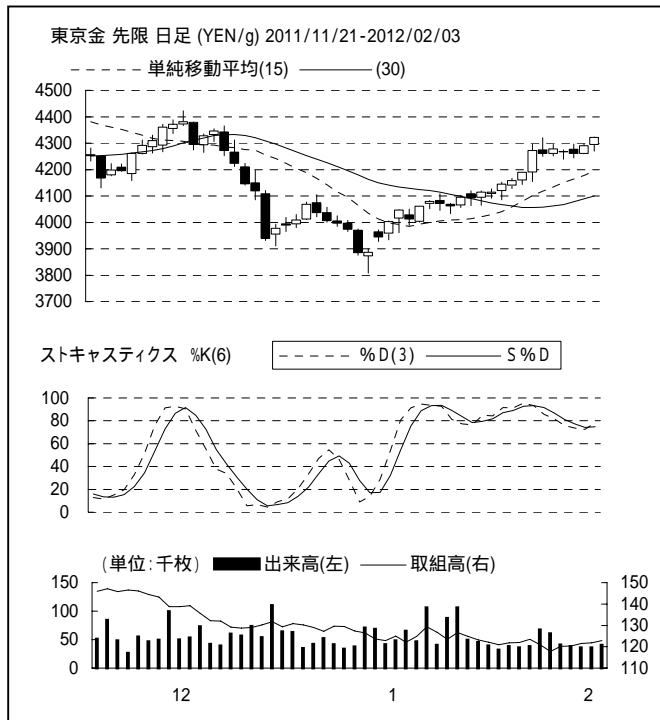
粗糖 

コーヒー 

No. 890

WEEKLY TECHNICAL REPORT

東京金 - 4,200円台半ばを下値に上値トライへ



【予想レンジ】 4250 ~ 4500円
 【直近終値】 4322円

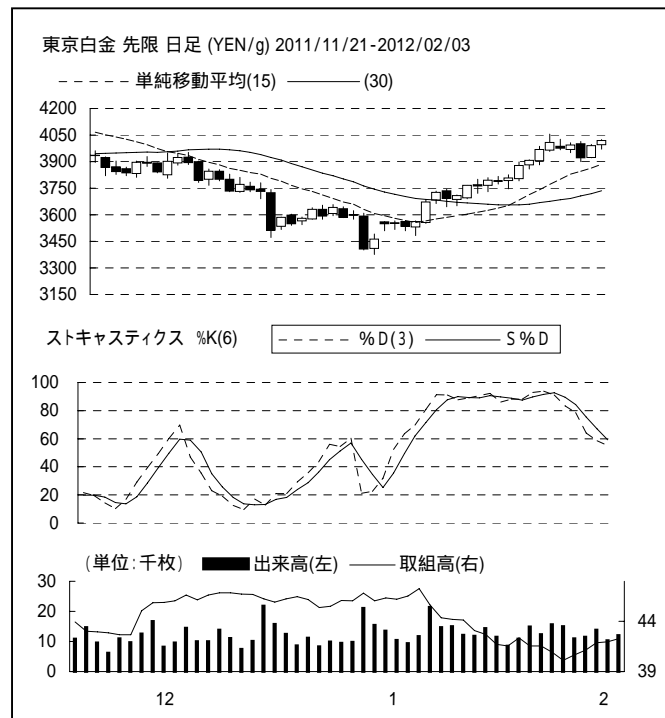
ストキャスティクス・移動平均線
 年末の3,808円を底に反発。長期線越えて強気のトレンドを形成。短期線を支持に戻り高値をトライ。

出来高・取組
 11月の下落局面で増加した取組は12月にかけて整理された。その後は次第に増加傾向となっている。

主要価格水準
 抵抗1...4,350 抵抗2...4,500
 支持1...4,300 支持2...4,200

【当面のスタンス】
 年末の3,808円を底に年初から切り返し、長期線越えて4,200円を突破。12月初旬の高値4,422円、11月の高値4,510円を視野に入れた展開へ。4,050円を割り込むようなら下値模索へ転換だが、これは距離感あり。

東京白金 - 4,050円越えの上値トライへ



【予想レンジ】 3750 ~ 4200円
 【直近終値】 4020円

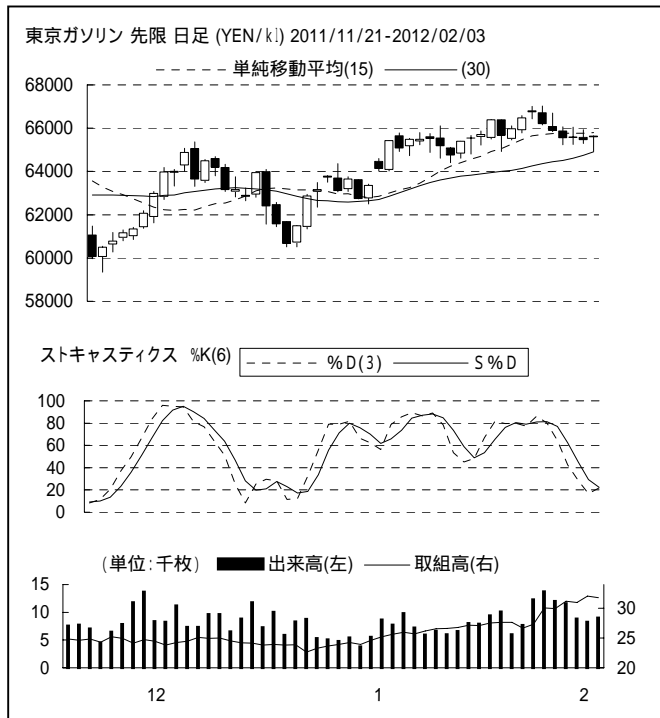
ストキャスティクス・移動平均線
 年初からの上昇で長期線を突破。短期線を支持に上昇トレンドを形成。4,000円台定着を経て11月高値4,199円を試す。

出来高・取組
 11月末は保合のなかで取組が増加。その後の安値更新で一部整理され、続いて玉整理が進展。

主要価格水準
 抵抗1...4,150 抵抗2...4,200
 支持1...3,900 支持2...3,750

【当面のスタンス】
 年末に3,400円を割り込んだが、年初からの上昇で買戻しが進展、4000円の大台を突破した。短期線の支持を試しつつ、3,900円を下値に11月高値4,199円を試す展開へ。ただし、3,750円割れでは再度軟調地合への転換を意識。

東京ガソリン - 66,000円越え切り返して上向き傾向を確認へ



【予想レンジ】 65000～68000円
【直近終値】 65590円

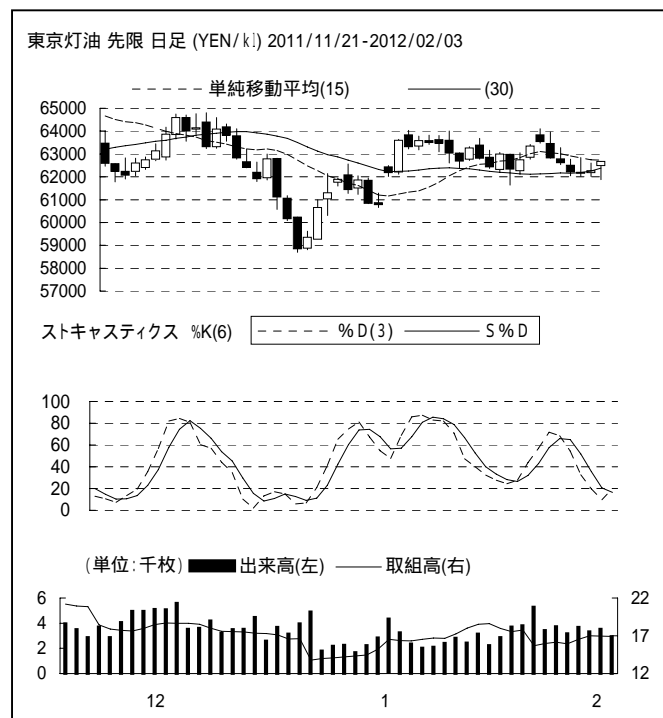
ストキャスティクス・移動平均線
短期線を支持に保合状態から徐々に上昇トレンドを形成。66,000円越えへの切り返して上昇継続を確認。

出来高・取組
保合からの上放れで買戻しが進展し、一時取組が減少。66,000円越えで再び増加傾向へ。

主要価格水準
抵抗1...67,000 抵抗2...67,500
支持1...65,000 支持2...64,000

【当面のスタンス】
65,000円前後での保合から短期線を支持に66,000円を突破。昨年後半からの緩やかな上向きの流れは変わらず。目先は短期線までの押し、もしくは長期線までの深押しを考慮しつつ、強気スタンスを維持。

東京灯油 - 64,000円越えを伺うが保合気味



【予想レンジ】 62000～65000円
【直近終値】 62680円

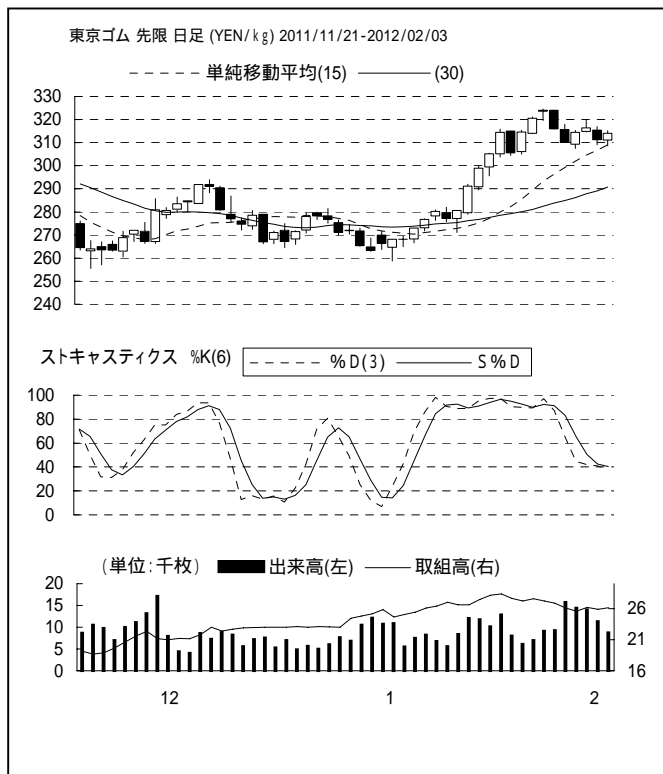
ストキャスティクス・移動平均線
62,000～64,000円のレンジで保合が継続。66,000円越えで強気転換だが、62,000円割れでは下値模索へ。

出来高・取組
保合のなかで取組が減少。玉整理中心の商いで新規玉が乏しい。方向感が定まるまでは減少傾向継続か。

主要価格水準
抵抗1...64,000 抵抗2...65,000
支持1...62,000 支持2...61,000

【当面のスタンス】
12月の反落から水準を切り上げたが、62,000～64,000円での保合。目先は長期線の支持から64,000円、もしくは12月の高値64,810円までの戻り高値を試す展開。ただ、64,000円が重いようなら保合継続へ。

東京ゴム - 310円を下値に上向き傾向



【予想レンジ】 310.0 ~ 330.0円
 【直近終値】 314.1円

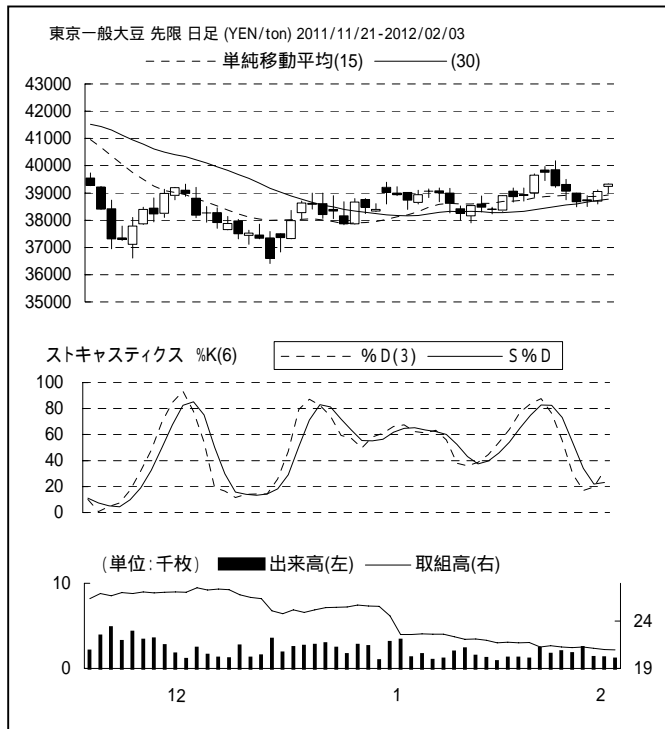
ストキャスティクス・移動平均線
 平均線を抵抗とした保合から 294 円越えで上方ブレイク。320 円越えで一旦押されるも 310 円台を固め、再度上昇へ。

出来高・取組
 11 月中旬より次第に取組が増加傾向にあり次第に関心が高まる。年末も保合のなか取組増となり、踏みと投げを警戒で。

主要価格水準
 抵抗 1 ...325.0 抵抗 2 ...328.0
 支持 1 ...305.0 支持 2 ...295.0

【当面のスタンス】
 294 円越えで買い戻しが加速、ほぼ一本調子で 320 円を突破。市場の関心も集まりつあり、昨年 9 月以来の 340 円台も視野に入る。目先は利食い売り圧力から 310 円台を固めつつの上向き。強気スタンスは継続。

東京一般大豆 - 平均線越えで地合変化



【予想レンジ】 38700 ~ 41000円
 【直近終値】 39320円

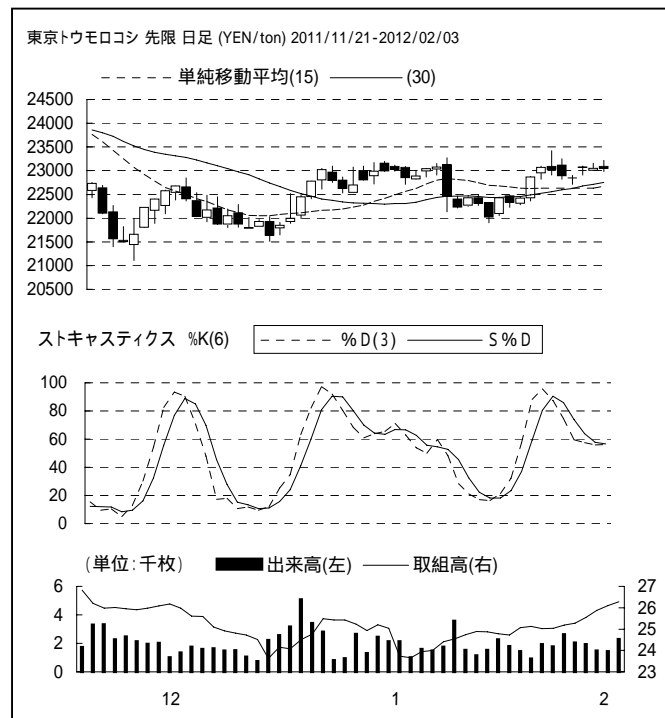
ストキャスティクス・移動平均線
 38,000 ~ 39,000 円での保合から放れ、年初来高値を更新。目先は 40,000 円台を試す。

出来高・取組
 11 月以降に増加した取組みは 12 月半ば、年初で 2 段階に整理され、買い戻し一服か。

主要価格水準
 抵抗 1 ...40,000 抵抗 2 ...41,000
 支持 1 ...39,000 支持 2 ...38,700

【当面のスタンス】
 12 月から続く保合を経て 38,000 円台の底堅さを確認。39,000 円越えで買戻しが進展し、一時 40,000 円を突破。依然上値に重さは残るものの、目先は短期線の支持を確認しながら、40,000 円台定着を試す。

東京とうもろこし - 平均線越えで上値トライ傾向



【予想レンジ】 22750 ~ 24000円
 【直近終値】 23040円

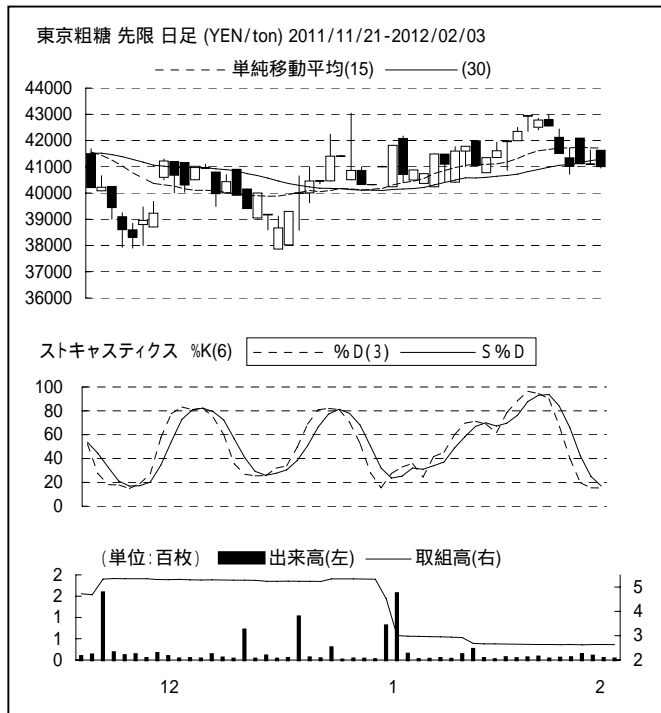
ストキャスティクス・移動平均線
 22,500 円を挟んだ保合から上放れ、平均線を突破。目先は 23,000 円台定着を試す。

出来高・取組
 取組は 11 月の 23000 円割れから玉整理が先行。12 月下旬の反発で増加に転じたが、持続的な増加は見られず。

主要価格水準
 抵抗 1 ...23,200 抵抗 2 ...24,000
 支持 1 ...22,750 支持 2 ...22,500

【当面のスタンス】
 22,500 円前後の保合から放れ、12 月の保合レンジまで水準を切り上げた。ただし、23,200 円の抵抗が重い。目先は 23,000 円前後で下値を固め、23,200 円越えで地合好転を確認へ。上値追い傾向。22,500 円割れなら再度軟調へ。

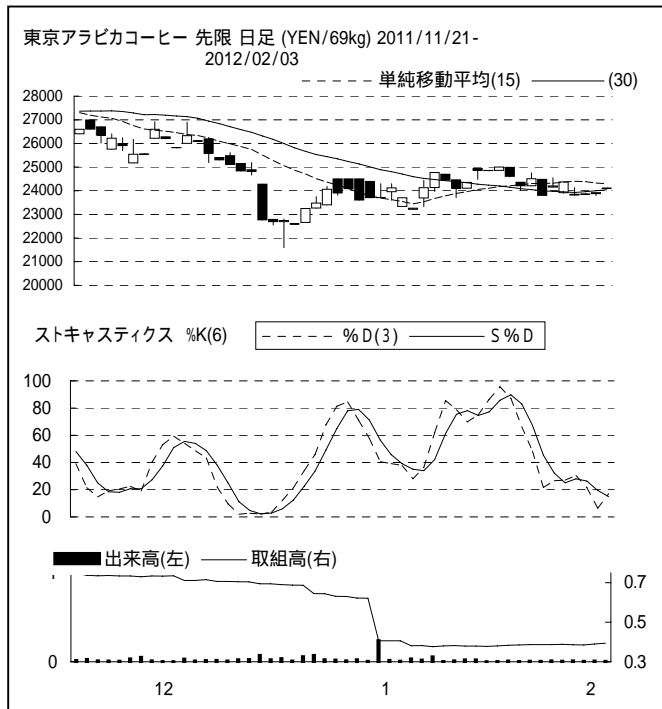
東京粗糖 - 43,000円越えで強気の流れを確認 - 閑散注意



【予想 レンジ】 40500 ~ 42000円
 【直近終値】 41000円

ストキャスティクス・移動平均線 41,000 円で下値を固め、徐々に上値を切り上げる展開。ただし、目先は平均線割れを警戒。	
出来高・取組 取組は、12月納会で急減。依然回復の兆しは見えず、減少傾向。出来高も低迷。	
主要価格水準 抵抗 1 ... 42,000 抵抗 2 ... 43,000 支持 1 ... 41,000 支持 2 ... 40,000	
【当面のスタンス】 平均線突破後、41,000 円台で下値を固めつつ、徐々に上値を切り上げる展開。43,000 円越えで強気を確認だが、目先は平均線割れで失速調整を警戒。 取引が閑散にて特に注意が必要。	

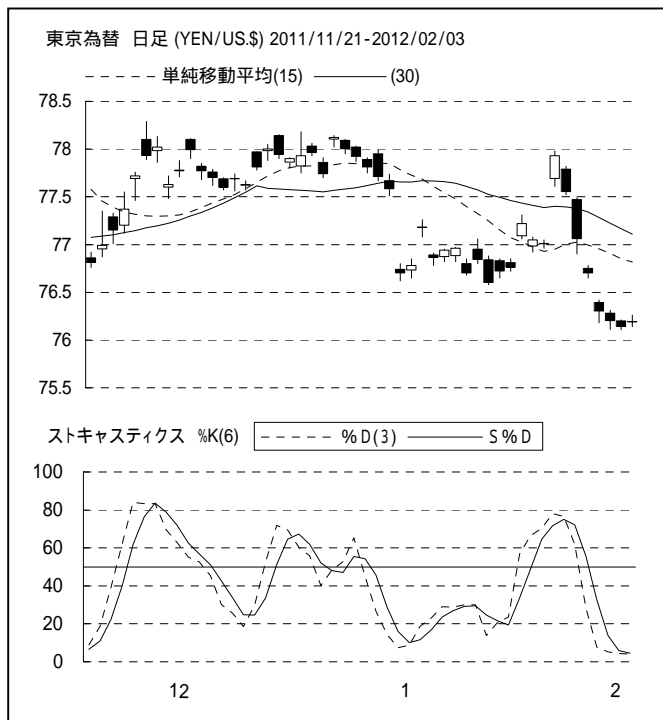
東京アラビカコーヒー - 平均線で膠着 - 閑散注意



【予想 レンジ】 23000 ~ 25000円
 【直近終値】 24100円

ストキャスティクス・移動平均線 1 月中旬に平均線を越えたが、25,000 円の抵抗が重い。短期線割れで再び軟調地合へ。	
出来高・取組 取組は年末の急減から低調のまま横ばい。出来高も低迷したまま、増加傾向は見られず。	
主要価格水準 抵抗 1 ... 25,000 抵抗 2 ... 26,000 支持 1 ... 23,500 支持 2 ... 23,000	
【当面のスタンス】 平均線を越えているが、24,000 円前後での膠着状態は継続。引き続き方向感を探りづらい展開。ただし、短期線割れで下値模索の展開へ。 出来高閑散にて売買には特に注意が必要。	

為替（ドル円） - 76.50～77.00円を戻り抵抗に保合傾向



【予想レンジ】 75.50～76.80円

【直近終値】 76.19円

ストキャスティクス・移動平均線
10月末の介入で急反発し平均線超え。
12月は78円前後での小動きとなっていたが、年初に一旦割り込み反発。

主要価格水準

抵抗1...76.50 抵抗2...76.80
支持1...76.00 支持2...75.00

【当面のスタンス】

10月には対ドルで戦後の最高値水準となっていたが、10月末の政府日銀による円売り介入で地合転換。目先は78.00～78.20円を戻り抵抗に、この水準を保合上限として一旦、円高方向をテスト。76円割れテストが先行しよう。

■ 取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)当り最高 166,000 円、最低 17,000 円です(2012 年 1 月 4 日現在)。但し、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。また、その額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

[取引証拠金額一覧表] <http://www.okato.co.jp/okato/expert/pdf/honsyo.pdf>

※証拠金合計額は、各銘柄「売」・「買」の残玉枚数が多い方の値に、各銘柄 1 枚当りの取引証拠金額を乗じ、これらを合算した金額になります。(追加の預託:「納会月割増額」の必要がある場合は、各銘柄「売」・「買」の残玉枚数の多い方の値に、「納会月割増額」を乗じた金額も加算されます。)

■ 商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引は証拠金取引であるため、取引の対象である総取引金額(約定値段等に取引単位の倍率と取引数量を乗じて得た額)は、取引証拠金の 5~90 倍程度となります。なお、このレバレッジは 2012 年 1 月 4 日時点のものであり、証拠金額と商品価格によって変動いたします。

■ 商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は取引証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、価格変動が予測に反して推移した場合には大きな損失が発生する可能性があり、また、その変動の幅によっては損失が預託した証拠金を上回る場合がございます。

■ 手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。インターネット商品先物取引『Expert』のシステムを利用した場合、標準取引は全銘柄共通、通常取引 1 枚あたり往復 756 円(内消費税相当額 36 円)・日計り取引 1 枚あたり往復 378 円(内消費税相当額 18 円)、ミニ取引は全銘柄共通、通常取引 1 枚あたり往復 378 円(内消費税相当額 18 円)・日計り取引 1 枚あたり往復 189 円(内消費税相当額 9 円)の委託手数料がかかります。また、電話による代行注文をお受けした場合、1 枚あたり片道 3,150 円(内消費税相当額 150 円)の委託手数料がかかります。(手数料合計額は往復手数料×取引枚数になります。)

上記の手数料は 2012 年 1 月 4 日時点のものであり、変更される場合があります。

◇ お取引に関する相談は

岡藤商事株式会社 コールセンター(管理課)

東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-0440

日本商品先物取引協会 相談センター本部

東京都中央区日本橋小網町 9-4 TEL 03-3664-6243

ホームページ <http://www.nisshokyo.or.jp/>

※当社のディスクロズ資料は当社または日商協の本支部およびホームページでご確認いただけます。